

# だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里

「だいち」広報委員会

〒349-0101

埼玉県蓮田市黒浜1045-1

TEL 048-764-3881

FAX 048-764-7788

H P <http://minuma-hukushi.com/>



書 関口忠司

## 巻頭コラム

3月から宿直のバイトをさせていただくことになりました、日隈実津希（ひぐまみつき）と申します。

大地に初めて来たのは、2月下旬でした。学校の実習で2週間お世話になり、仲間たちと過ごす毎日が楽しくて、実習を終えた後もこのような形でお世話になります。

まだまだ仲間のことを理解しきれていない部分がありますが、自分らしく元気ががんばっていきたいと思っています。

仲間のみなさん、どうぞよろしくお願い致します！

日隈 実津希（宿直）



## 3月の催し物

### 実践検討会

3月4日、プラザイーストでみぬま福祉会実践検討会がありました。

法人内の各施設の職員、家族、他法人の職員、先生など148名の参加でした。当日は午前中は北欧研修の報告があり、北欧と日本の制度の違いや、

「大地」北欧の福祉施設についての紹介がされました。また、太陽の里、大地、

大宮太陽の家、はすの実作業所から

4本のレポートが出され、午後は各分科会に分かれて日々の取り組みの話をする時間を持ちました。普段なかなか話をする機会のない他施設の職員と日々の悩みや意見を交換する場を持つ事ができ、職員それぞれがこれからの仲間の実践のヒントを持ち帰れたのだと思います。

中村 智恵（職員）

### 大地運動会

3月21日に第9回大地運動会が行

われました。職員の体制が整わなかったり、インフルエンザが大流行してしまったりと、季節外れの開催となっていました。今回は外が肌寒かった為、室内で行うことになりました。この日は、雨が降ってしまいました。たくさんの方々が参加して下さいありがとうございます。

みんな交流スペースに集まり、ラジオ体操を行います。普段も仕事前にラジオ体操を行っています。今日は運動会ということで全体的にいつもよりもよく動いていました。自分でできる人は自分で、職員の手を借りて体操をする人、職員の真似をして動かす人等さまざまです。準備運動が終わると、第1種目の『大声大会』が始まります。ただ大きな声

を出すのもよし、普段思っているこ

と、伝えたいことを叫んでもいいルールです。「〇〇が好きだ」などを叫んだり、普段こんなこと思っているんだなと思わせることを叫んだり、とてもユニークな競技です。2種目は借り物競走。今回の借り物競走は競争というよりは上手におねだりしてお題の物を借りてくるゲームです。審査員とのやりとりが面白い競技でした。最後は全員リレー。職員、保護者も混じり全員走っていきます。一生懸命に車椅子を漕いでいる姿がかっこよく、雑巾がけは面白かったです。

大地は車椅子の仲間が多く運動するのにも大変です。だからこそ、このような機会に運動する楽しさを少しでも味わってもらうことができたのではないかと思います。

大浦 健一（職員）

### 後援会30周年の集い

みぬま福祉会後援会30周年記念の集

いが3月2日、交流センターにおいて行われました。大地はこの間インフルエンザが流行していた為、仲間職員共に参加できませんでした。嶋さんの書いた横看板がステーションに掲げられていました。

式典では、堅井護士による記念講演で憲法の大切さを学び、シンポジウムでは、障全協の品川氏を招きみぬまの歴史を振り返りました。昼食は太陽の里の厨房職員が腕を振るって作ってくれた食事に舌鼓を打ちました。その後は皆が楽しみにしていた、たかはしへんさんの登場です。おなじみの曲が流れ、仲間も家族も職員も熱唱していました。

今度は何年後になるのかわかりませんが、次回は大地の仲間と職員皆が元気に参加できるといいですね。

小林 真弓（職員）

## 29年度に向けて（分野編）

### リハビリグループ

身体機能の低下を防ぎ、向上を図っていくための機能リハビリを保

障していくと同時に「何のためにリハビリを行うのか？」目的を職員が理解し、仲間に分かりやすく伝えていくことが活動目的や意欲を育むこ

「大地」と繋がるのではないか。「自分で出来ること」「はその人の自信や価値、

他者との共感を得ることや生活の広がり、自己肯定感に繋がるのではないか。リハビリを通して「自分で出来る」「他者のために出来る」ことを広げることは生活を豊かにしていくのではないか。「生活の中でできる事」を大切に上げていくことは身体を動かす意欲や自信に繋がっていくので

はないか。…これらの考えから①機能リハビリの保障②意欲につながる声かけ③大切にしたい生活動作を通

じて意味・自信・自己肯定感を育む。生活の中で身体にとって大切な事を意識する④環境整備の4つの方針を立て活動してきました。

重度重複障害の仲間達は身体機能上りハビリの必要性が高い一方でその必要性や目的、意味の分かりづらさも抱えているのではないかと思えます。今年度は意味・意欲を育む声かけ、具体的に出来る動作を通じて意味・意欲・自信に繋げていくことを重点的に考えてきた1年でした。みんなの生活の中で大切にしたい動作を広報でも紹介してきましたが、棟口棟に仲間皆の生活動作を貼り出しています。今後も皆で応援し合い前向きに取り組んでいけたらと考えています。

島田 明音（職員）

### 文化グループ

今年、文化は文化的取り組みと環境的な取り組みを中心に、1年間取り組んできました。仲間たちが自身の生活をみつめ、意識できるような、暮らしに密着した取り組みを行っています。

取り組みとして、全体会の中で行なわれる学習会があります。仲間との交流を図ると同時に自らが講師となり活躍する場となる、篠原さんによる足話の勉強会もその一つです。平日の活動の中では、食事の準備をしたり、夕方の余暇の時間を使い大地広報を皆で読み合わせたり、新聞や雑誌の生地を読んだりしています。環境の日では施設内の不備がないかを見回ります。担当職員だけでは届かないところもありますが、担当の仲間はもちろん、担当ではない仲間や職員から掃除をした時に気

になる場所や、生活する中で不備がある所など報告してもらう時間にもなっています。大地の皆で環境を整備していると感じています。

このような今まで培ってきた自分たちの生活を意識する取り組みが職員・仲間それぞれ根付き、それが自分たちの生活を自分たちで組み立て、みんなの役割を担っているという意識につながっています。

これらの取り組みの経験が、生活の質を高めていくことの大切な要素であり、を通して「自分たちの新たな要求」へと広がっていくのだと思います。これからもそれらを仲間、職員の共通の認識とし、大切な視点として、仲間と共に願いや想いの実現を目指して取り組みを深めていきたいと思っています。

富谷 勲（職員）

## 健康給食グループ

こんにちは。看護師の中山です。  
今年度は、大きな感染症の流行もなく……と総括を出した2日後、

インフルエンザA型が発症。かつてないほどの、大流行となつてしまいました。  
第15号

この件に関しては、仲間や家族の皆様に、多大なご迷惑、ご心配をおかけいたしました。

ある情報によると、今回流行したインフルエンザウイルスの型が、40代以上の人は、かつて感染した可能性が高く、若い世代は出た事のないウイルスだった為、若年4月10日発行  
17年た事のないウイルスだった為、若い世代の感染が、爆発的流行に  
2011年た事のないウイルスだった為、若い世代の感染が、爆発的流行に  
2011年た事のないウイルスだった為、若い世代の感染が、爆発的流行に  
2011年た事のないウイルスだった為、若い世代の感染が、爆発的流行に

仲間の健康を守る事が、健康給食のテーマであり、病気の予防と、病気の早期発見・対応が、私たちの仕事です。昨年度、感染対策認

定看護師を招き、大地の環境について見直しましたが、今回のことで不十分であったことが浮き彫りとなつてしまいました。

免疫力が低い仲間達を守りきれなかったことは、大変反省すべきことであり、これを教訓として、来年度の課題としていきたいと考えて折ります。

また、今年度は健康診断実施医療機関が変わりました。産業医の先生もいる、白岡中央病院です。緊急搬送も受け入れてくれる地域の病院との連携も深くなりいざというときの安心にもなりました。みんなが健康で楽しく明るい大地の生活を守っていきましょう。

中山 郁（看護師）

## 課業グループ

今年度も大地の仲間達は一生懸命に仕事に取り組んできました。

「交流スペース」の仲間達は、せっけん作り、ウエス作業を頑張りました。せっけんは外部での販売で、リピーターの方、クチコミ

で買いに来てくれる人など多くの人に知られてきているようです。

ウエスも毎月注文してくれている企業や不定期でも継続的に注文してくれている方たちと繋がってきました。「書」の活動ではそれぞれの仲間が筆や色鉛筆、クレヨンを使って思いのままに作品をかきあげてきました。そして、作品展

や展覧会に出展してたくさん賞を獲得しました。グッズ化も進み、更に活躍の場を広げています。

「さをり」の仲間達の活動も大変素晴らしいものでした。織りの作

業はひとつひとつの作業は地味ですが、一本いっぽんの糸が織り重なって、仕上げられていく反物は、見た目以上の価値があります。反物がグッズに加工されたくさんの人に買っていただくことが出来ました。

大地課業として「風・ふう・歩」作品展や、はあとねっとわっふるでの展示会、外部での販売、納品で外部の人との関わりを通して社会経験も重ねてきました。また仲間たちが楽しみにしているポーナスも例年どおり2回支給する事ができました。

仲間達がやりがいを感じられる事を一番大切にしていき、来年度も目標を持って頑張っていきたいと思えます。これからも大地の仲間たちの仕事を応援して下さい。

野村 勇作（職員）



## 異動職員からの挨拶

この度10年間働いた大地を離れることになりました。次年度からの勤務は「地域活動支援センターたいよう（久喜市）」になりました。

第15号  
24時間仲間の生活を支えていた大地とは違い、日中の活動を支

「大地」  
えていくことを中心に支援を行なっていくので、夜勤がなくなり  
ます。10年間夜勤をやってきたので、なんか寂しいような物足りな  
いような感じがしますが、きっと  
すぐにそんなことも言ってもらえ  
ないくらい忙しい日々を送ることに  
なると思います。新しい職場では  
分からないことだらけで、行き  
詰ってしまうこともあるかもしれ  
ませんが、そんな時は、大地で10  
年間積み上げてきた経験が絶対に  
力になると思います。脳裏に焼き

付いている大地の仲間達の笑顔が  
力をくれると思います。

大地での10年を振り返ると、とても書ききれないので、そのことは自分の胸の中に大切にしまっておきます。

仲間の皆さん、職員の皆さん10年もの間本当にお世話になりました。文章では書ききれないですが、感謝の気持ちでいっぱいです。私も一生懸命頑張っていきますので、皆さんも体には十分気を付けてください。

本当にありがとうございました。

上原 淳一（職員）



## 異動職員からの挨拶

早いもので、私が大地に来たのも、もう6年も前の話になります。あれから丸6年。大地での生活は本当に密度が濃くて、あっといっ間だったような気がしています。

日々の生活、一泊旅行、季節の行事など、思い出深いこと、楽しかったこと、色々ありました。でも正直失敗したってことの方が印象に強いです。そうしてついにそめそしがちな私を叱ってくれたり、注射が嫌で大騒ぎしている私を見て笑い飛ばしてくれたり、そうやって一つ一つを追っていくと思いは尽きないです。

こういうことを書くのも何です

が、まさかまさか自分が異動になってこの挨拶文を書く日が来るとは…！と驚いている私もあります。その反面いずれは大地を巣立つ日

が来て、その時には大地で皆に教えてもらったことを他でも何か活かしていけたら…と考えていたのも事実です。

正直新天地への期待よりも不安が勝っている、相も変わらず自信の持てないところのある私ですが、それでも皆さんにご迷惑をお掛けしながらも、大地で何とかやってきた日々を胸に、大宮太陽でも頑張っていきたいと思います。

5  
—  
昨年度くらいから大地も仲間の体調不良が増えたり、職員も大きく入れ替わったり、色々あったと思います。でもきっと大丈夫。仲間の皆さんが支え合っている大地ですから。

あとちょっとだけ私も大地で皆と過ごさせてもらいますので、よろしくお願い致します。

山田 千尋（職員）

よもやまばなし  
四方山話  
みんなのおしゃべり広場

皆様、こんにちは。音楽療法士の

湯澤です。大地の音楽療法士を担

当させていただいて13年が経過し

ました。14年目に突入するこの4

月より、お休みをさせていただく

「大地」

色々と事情があり、大地の皆様

へのご報告が大変遅くなってしま

りました。昨日結婚し、湯澤か

ら鳶田(シマダ)に名前が変わり

ました。そしてこの度、子どもを

授かる事ができ、5月出産予定と

いうことで、お休みさせていただ

くことになりました。突然のご報

告となり、申し訳ございません。

結婚、妊娠の事を各所へ伝えた

際、様々な反応がありました。

「良かったね」と親のように喜ん

でくれた上司。「嬉しい知らせだ」

と涙してくれたお年寄り。「転ば

ないでね」「大事にしてね」と心

配してくれる先輩母達。大地でも

沢山の方に「おめでとう」と言っ

てもらえて嬉しかったです。でも、

1番印象的だったのは、植村施設

長の反応でした。「嬉しい事だか

ら喜ぶべきなんだけど…」「驚き

の方が強くて」「相手は誰?」「な

んで(相手は)みぬまの職員じゃ

ないの?」「よく隠してたね」

等々。複雑な心境とおっしゃって

いたように、突然のご報告という

こともあって、何とも言葉では言

い表せない表情と共に、質問攻め

にあいました。そして、今後の事

もご相談させていただき、皆様へ

のご報告となったのです。

私が音楽療法を仕事にしたいと

思った理由の一つに、生活環境が

変化しても、歳をとっても続けら

れる仕事だと思ったからという点

があります。結婚、出産を経てお

仕事を続けられている先生。介護

をしながらお仕事をされている先

生。自宅で障がいを持った方など

にピアノを教えている先生。定年

を迎えた後の70代、80代でも現

役でお仕事をされている先生。色

んな方たちを見てきた中で、今回

後任の先生を探すにあたっては

思っていた以上に苦勞し、決まる

までに時間がかかってしまいました

た。音楽療法士の今後、私自身の

今後も心配になりました。しかし、

幸いにも大地には丸谷先生という

大地の仲間の事もよく分かってく

れている先生にお願いする事がで

きたので、とても安心しています。

新たな風が入り、刺激となって良

い変化が生まれるかもしれない。

新たな一面が見られるかもしれない。

現状維持も簡単なことではない。

いですが、大地の仲間には更なる

一步を期待したいです。

初めて親になる私も、日々初め

の事、新しい事に出会い、迷っ

たり、悩んだり、喜んだり、不安

になったりと様々な感情、そして

体の変化と向き合っています。こ

の原稿を書いている今もお腹の中

で良く動いています。出産までの

日々を大切にしてい、皆様に良いご

報告が出来るようにしたいと思います

ます。いつの日にか仲間と再開し

た時、共に成長できていたら良い

なと思います。

今、一番の悩みは子どもの名前

をどうするか。嬉しい悩みのはず

ですが、責任重大ですね。

鳶田 美紀子(音楽療法士)



# なかまと みんなの輪



## まりこの 素敵な日常

にちようがいしゅつで  
アリオにいきました。  
はるものようふくを  
かいました。



みんな  
あがるいわ

2月のインフルエンザが  
大りゅうこうたいへんね。  
しんどいね。

みやよし



おすすめ

このイベント

# ボランティアの募集

## ウエス・古本・バザー品の

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

### ①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

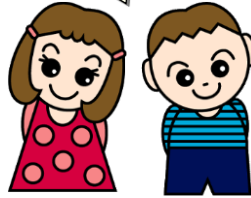
### ②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力をお願いします。

①ボランティア担当（松崎、面来）

②ウエス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう  
ございました!



島村 真紀子 様  
岩上 めぐみ 様

（順不同）

29年3月度に寄付して下さいました

ありがとうございました

## 大地4月の予定

1	(月)	辞令交付式（川口）
		家族会
		桜まつり
4	(火)	大地 入所式
5	(水)	グループ会議/分野別会議
22	(土)	職員会議



近野茂治の  
今月のイイネ!

打った!

打たれた

藤村卓也（職員）

ますよ。

頑張っている表情を、見学にきてくださ  
いね。お花見と同じくらい元気がもらえ

皆さん、仕事をしている仲間たちを、

年の作品展を期待してくださいね。

優先して確保することになりました。今

作品展に向けてさをりグループの時間を

た。仲間たちが話し合い、6月のさをり

ず、少しのんびりした活動になりました

3月は午前中の課業の時間が確保でき

ていただいた皆さんに感謝です。

なども製作されました。工房集にて買っ

販売用に、クリアファイルやカレンダー

の販売など多くの催しがありましたね。

り、みぬまコンサート、地域のお祭り

今年度も振り返れば、作品展、大地祭

んには。課業です。

地良い季節になりましたね。皆さん、こ

穏やかな日差しと少し冷たい風が心

課業です

<広報だいち> 広報委員会（職員） 面来・野村・北隅

（仲間） 田村・神永・土屋莉恵・関口・近野